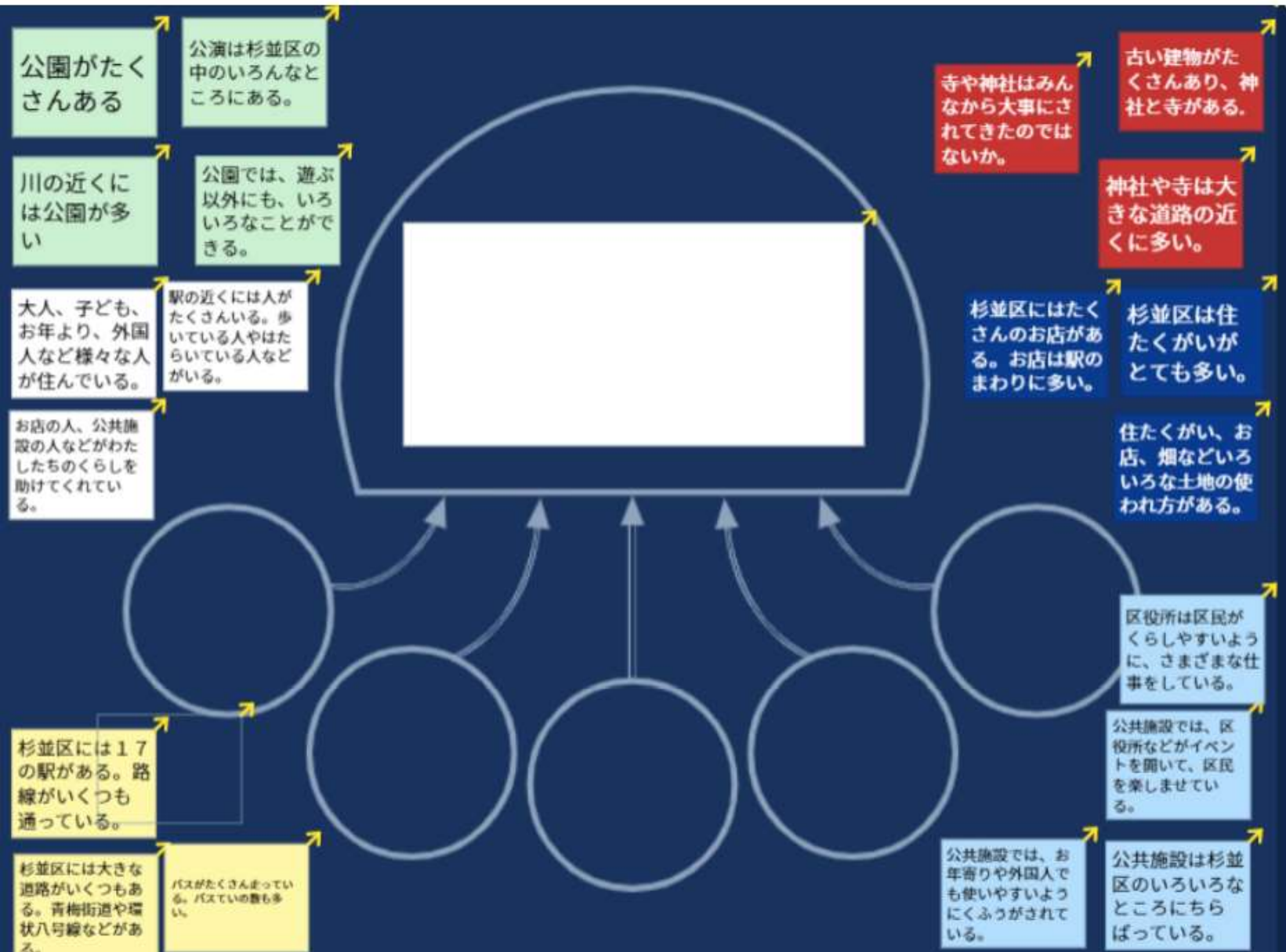


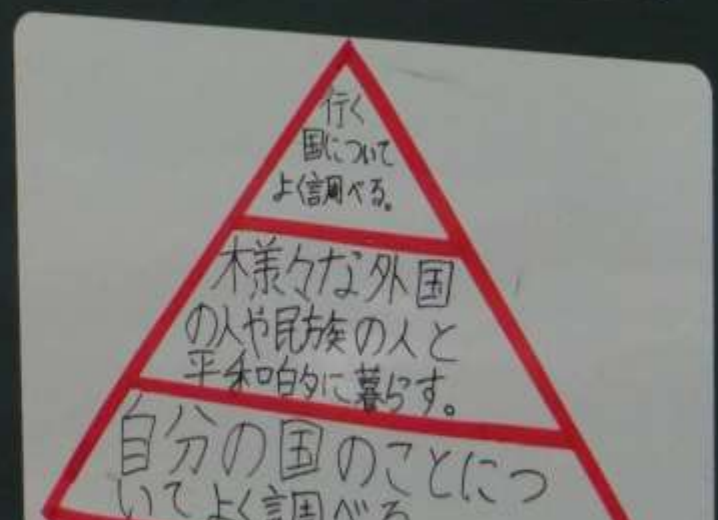
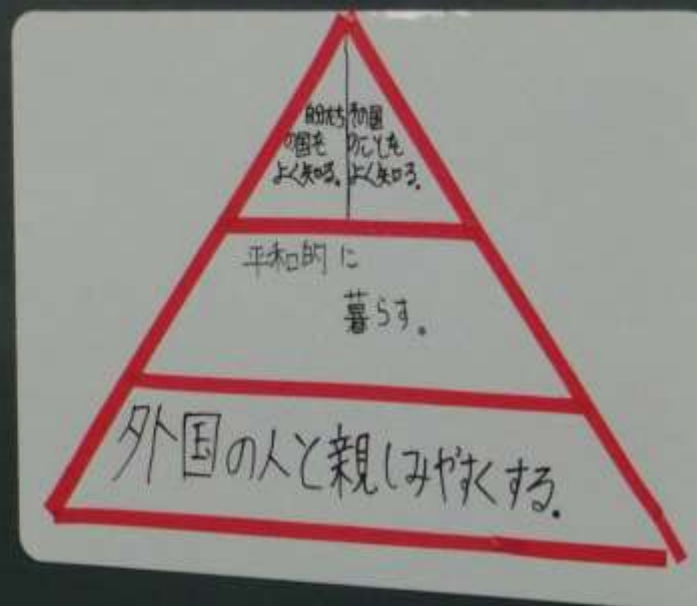
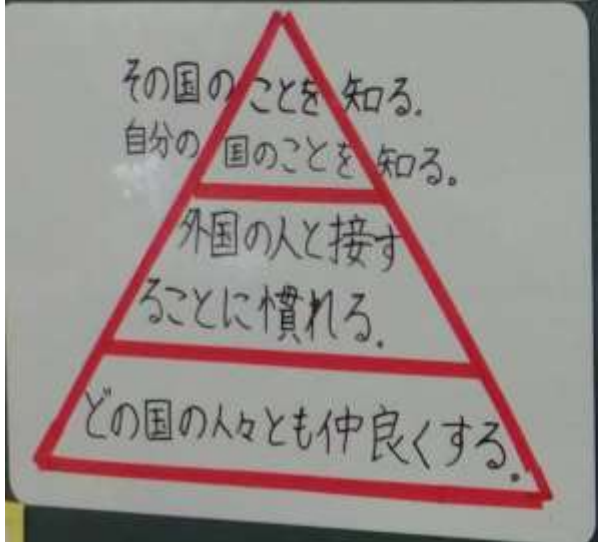
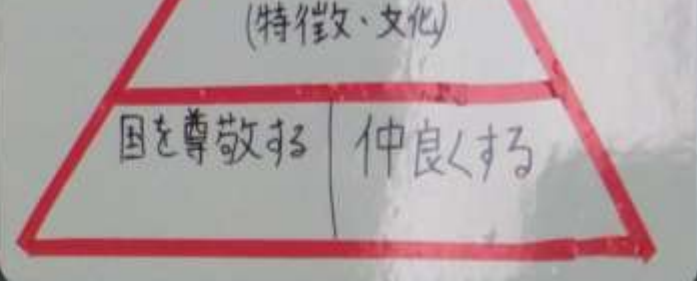
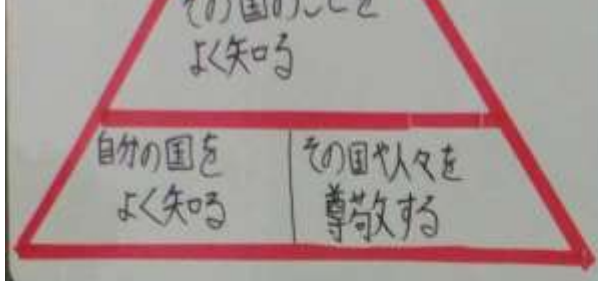
3年「杉並区の様子」 (ロイロノート)



【本時の課題】
杉並区のキャッチコピーを考えよう！

「クラゲチャート」を使って自分の考えの根拠を明らかにする。

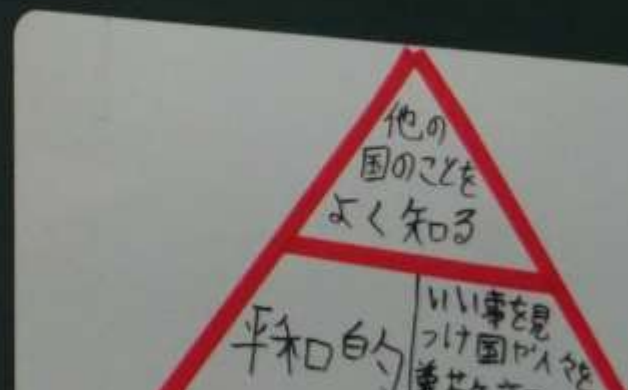
杉並区立天沼
小学校の実践



ら、とても傷ついてしまいます。



☆日本人は、とても友好的で温かく親切です。茶道や札幌の雪まつりはとても魅力的でした。日本語の難しさで困ったことはたくさんあります。しかし、私はどんな時も、日本人たちに敬意を払うことを大切にして暮らしています。

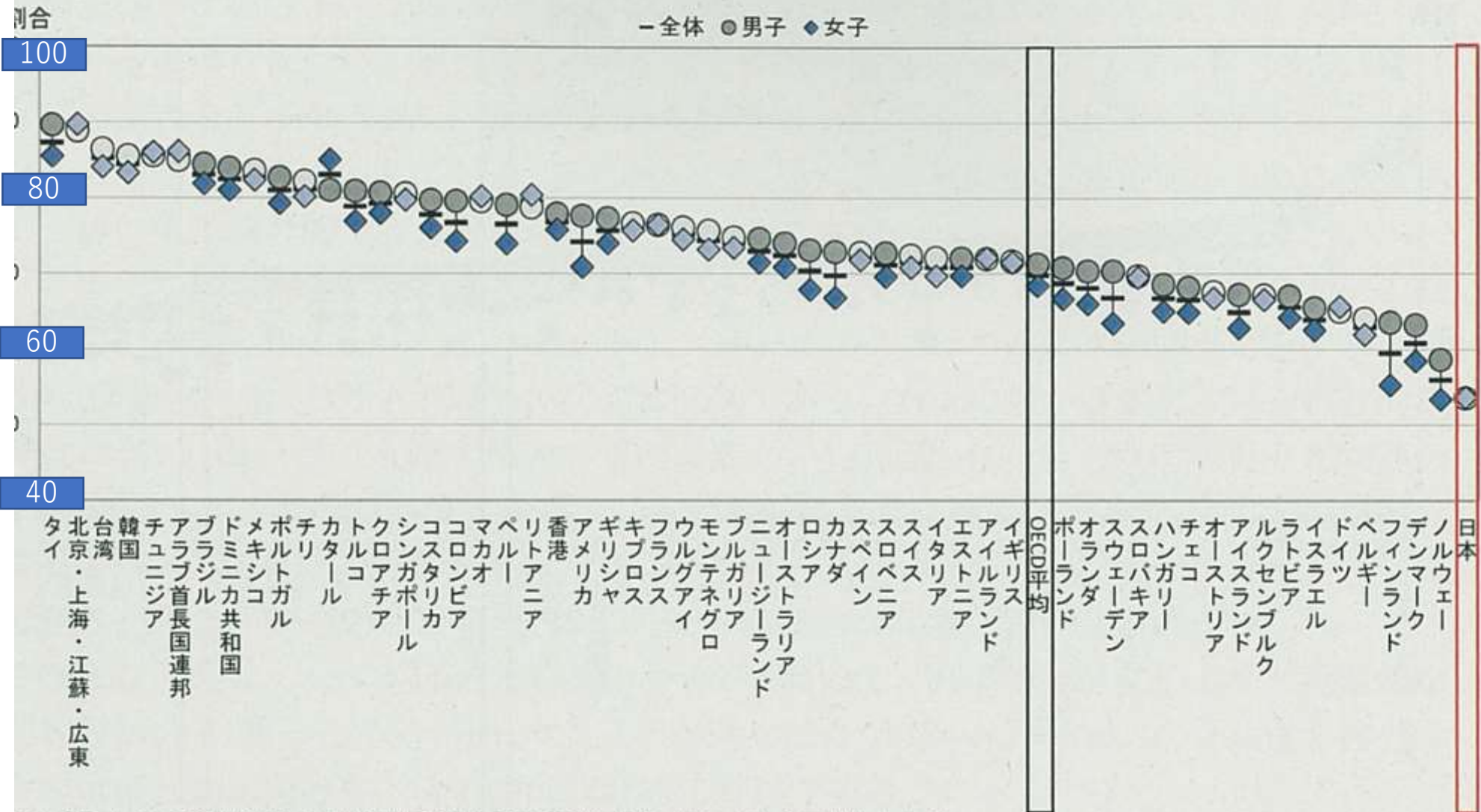


それぞれの学びを一体的に充実し 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる

②協働的な学び

- ◆ 「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要
- ◆ 集団の中で個が埋没してしまうことのないよう、一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出す
- 知・徳・体を一体的に育むためには、教師と子供、子供同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、地域社会での体験活動など、様々な場面でリアルな体験を通じて学ぶことの重要性が、AI技術が高度に発達するSociety5.0時代にこそ一層高まる
- 同一学年・学級はもとより、異学年間の学びや、ICTの活用による空間的・時間的制約を超えた他の学校の子供等との学び合いも大切

(共同作業だと、自分の力が発揮できる割合)



1. 「まったくその通りだ」「その通りだ」と回答した男子の割合が多い順に、左から国を並べている。

どうい
う人がお米
作りをやって
いる？
中村

半年くらいお米を
作っていた
河野

ほとんど機械で
やっている。
宮本

米を作るのに時間
がとてかかる
中村彩花

米づくりには沢山の仕
事がある中
村

農業をまくと環境に悪い
のじゃない？
宮本

ヘリコプ
ターでの農
薬をやって
いる

どうい
う人がお米
作りをやって
いる？
中村



田おこし



代かき



田植え



農業散布



種まき

3月
種もみを選ぶ
共同作業の計画づくり
・種水を使って
よい種もみを用意する

4月
種まき 田おこし
たい肥をまく
・健康な土をつくる
なえを育てる

5月
代かき
水の管理
じよ草をまく
田植え
・田に水を入れ、
平のにならす

6月
稲の生長を調べる

塩水を使って良い
種もみを用意す
る？なぜ塩水？
宮本

8月
穂が出る
・病気や害虫から稲を守る
・肥料をあてる
・肥料の量を調節する

9月
稲がりの計画づくり
稲がり だっこく

10月
出荷前にもみすりをす
かんそう
カントリー
エレベーターに運ぶ

野辺山原の人々は、どのように生活しているのだろうか。

わかったこと

昔は野辺山原は
木などばかりで
今のような畑は
なかった渡邊

根が邪魔だ
から 切っ
て家を作っ
た 渡邊

クーラーが
ない 渡邊

まきストーブや
床暖房を使っ
ている家が多い
五箇野

クーラーが
ない家が多
い 五箇野

高地の気候をさ
らに生かした露
菜をすすめ高
原野菜の生産を増
やしていった五
箇野

元々は、大根、
そばなどをつ
くっていた。本
名

クーラーが無
く、床暖房を
使っている家
が多い。本名

1935年に鉄
道が通るよう
になった。本名

屋内で楽し
む絵画や書
道などがさ
かん。本名

冬はスケー
ト教室があ
る
東田

ストーブや床だ
ん褥をつかっ
ている家が多
いはる

昔の米作り

現在の米作り

昔は田おこしを牛でやっていた
中野

昔は田植えは手で植えていた
中野

昔は稲刈りを鎌でやっていた
中野

昔は労働時間が長かった。
中野

昔は茶色で汚い色だたけどきれいな色になった。
村上侗雄

昔は曲がった田んぼで米作りをしていた
中野

今は、田の下に色々機械がある。
中村

今は、機械を使って米を作っている。
中村

手作業を今は、あまりしていない。
中村

今は、費用が昔に比べて高くなっている
清水

今はお米を品種改良して病気に強いお米を作った
清重

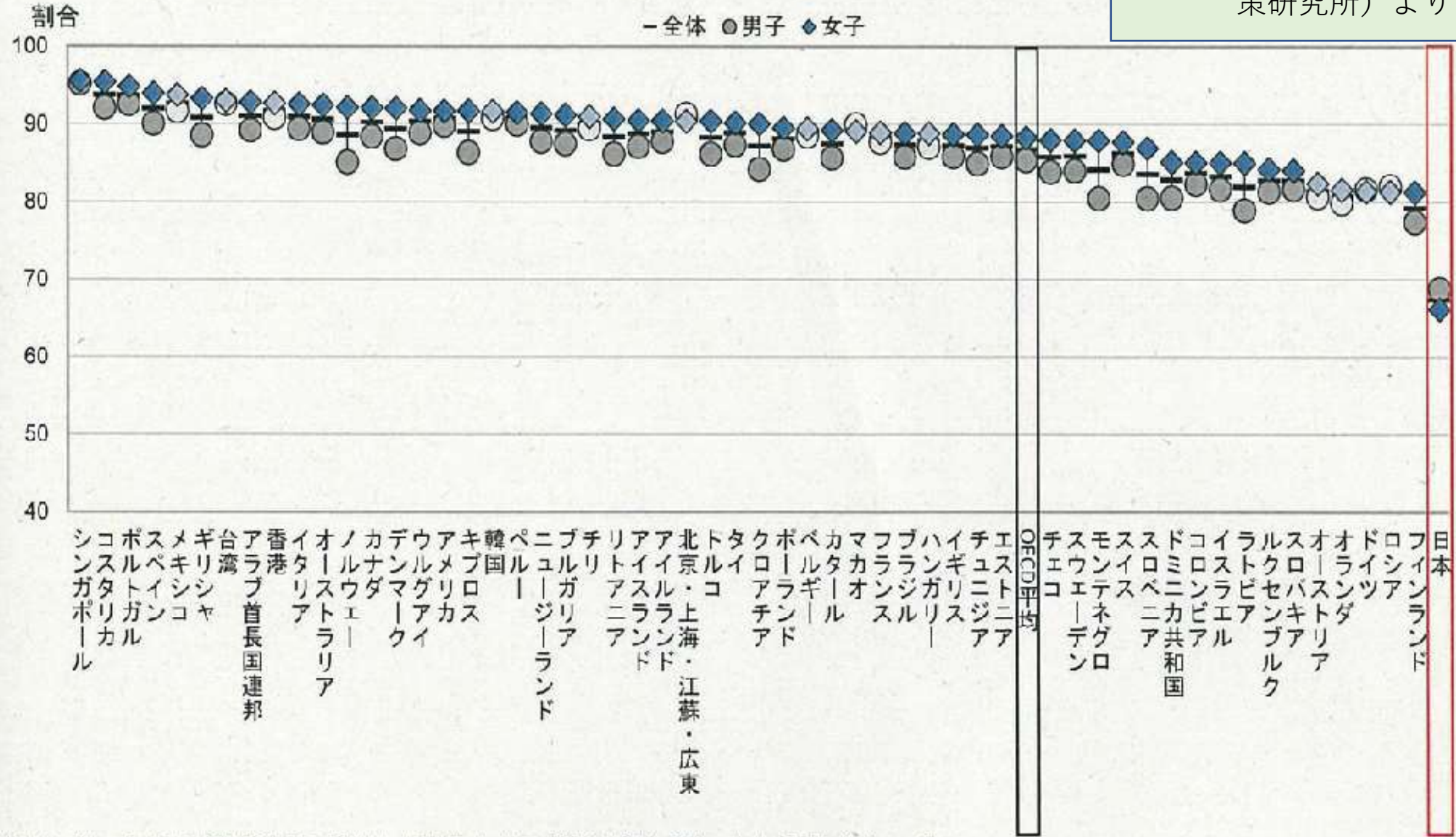
農薬より、肥料を今は、使っている。
中村

今は、農薬を使っている
清重

今は、田が黄緑色になっている。
中村

図表 4-7 他者との関係性への価値付け
(異なる意見について考えるのは楽しい)

『PISA2015年 協同問題解決能力調査～国際結果の概要～』
(平成29年11月・国立教育政策研究所) より

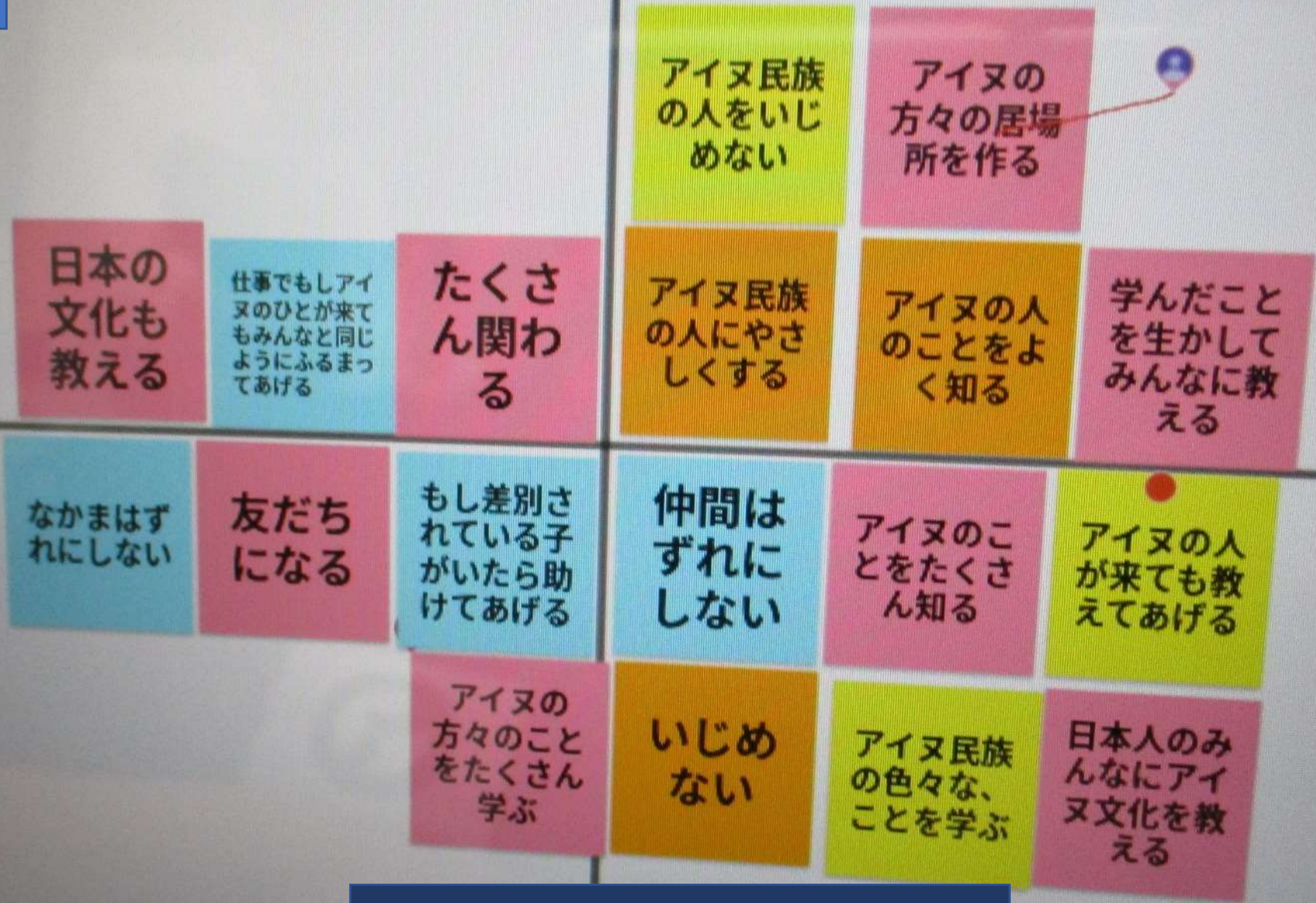


(注) 1. 「まったくその通りだ」「その通りだ」と回答した女子の割合が多い順に、左から国を並べている。

大人になったらできると考えたこと

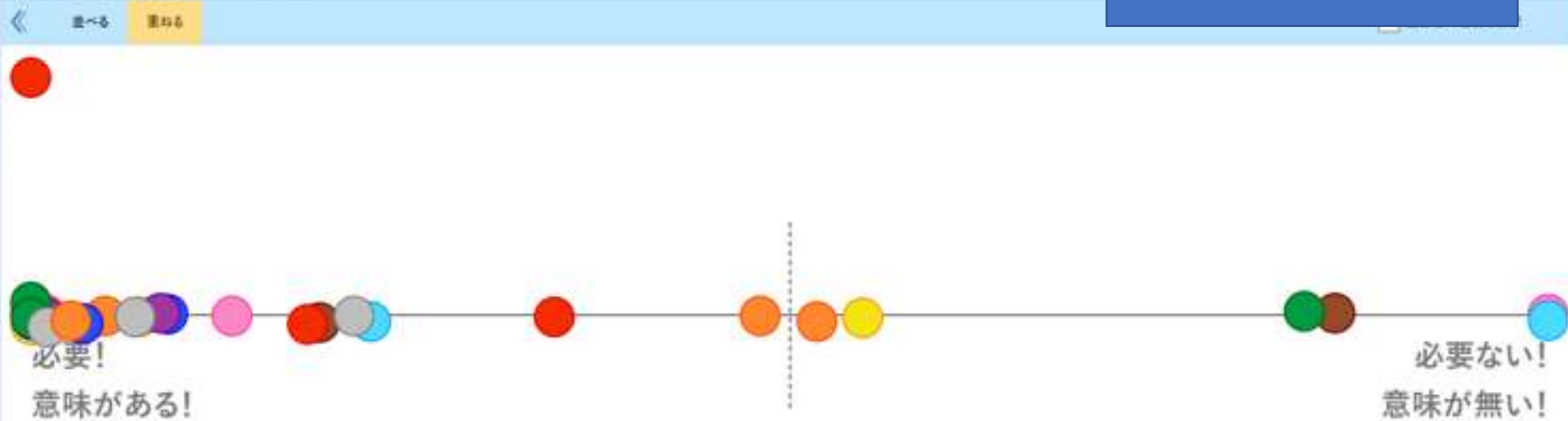
社会全体で協力してこそできると考えたこと

自分だけでもできると考えたこと



今の自分でもできると考えたこと

花川ダムを造ることは必要?意味がある?



7/1 9:47

7/5 15:22

7/5 15:26

7/7 13:48



子供の学び

義務教育

- 新たなICT環境や先端技術の活用等による学習の基盤となる資質・能力の確実な育成，多様な児童生徒一人一人の興味・関心等に応じ意欲を高めやりたいことを深められる学びの提供
- 学校ならではの児童生徒同士の学び合い，多様な他者と協働した探究的な学びなどを通じ，地域の構成員の一人や主権者としての意識を育成
- 生活や学びにわたる課題(虐待等)の早期発見等による安全・安心な学び

子供の学びや教職員を支える環境

- 小中高における1人1台端末環境の実現，デジタル教科書等の先端技術や教育データを活用できる環境の整備等による指導・支援の充実，校務の効率化，教育政策の改善・充実等
- ICTの活用環境と少人数によるきめ細かな指導体制の整備，学校施設の整備等による新しい時代の学びを支える学校教育の環境整備
- 小中連携，学校施設の複合化・共用化等の促進を通じた魅力的な教育環境の実現

4. 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性

(3) これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現する

- ICTや先端技術の効果的な活用により、新学習指導要領の着実な実施、個別に最適な学びや支援、可視化が難しかった学びの知見の共有等が可能
- GIGAスクール構想の実現を最大限生かし、教師が対面指導と遠隔・オンライン教育とを使いこなす（ハイブリッド化）ことで、様々な課題を解決し、教育の質を向上
- 教師による対面指導や子供同士による学び合い、多様な体験活動の重要性が一層高まる中で、ICTを活用しながら協働的な学びを実現し、多様な他者とともに問題発見・解決に挑む資質・能力を育成

札幌市立九条北
小学校の実践



雪対策室・後藤

雪対策室・吉沢

午前10時27分

SHARP



かき分
/0cm
夜間-





11/22(水) 情報を生かす産業

札幌商工会議所
サッポロバーチャル
Sapporo Virtual

札幌市立道南
井満さん

札幌市立道南
本田さん

今年春
ふつうは
お金がかかる
↓
無料で!

どうして無料で施設や飲食店を見せたいの
よりよく知る
こういう場所だよ
限定のもの
興味をもって
あまり見れない

コロナ禍

サッポロビール博覧会
200万円以上
飲食店1

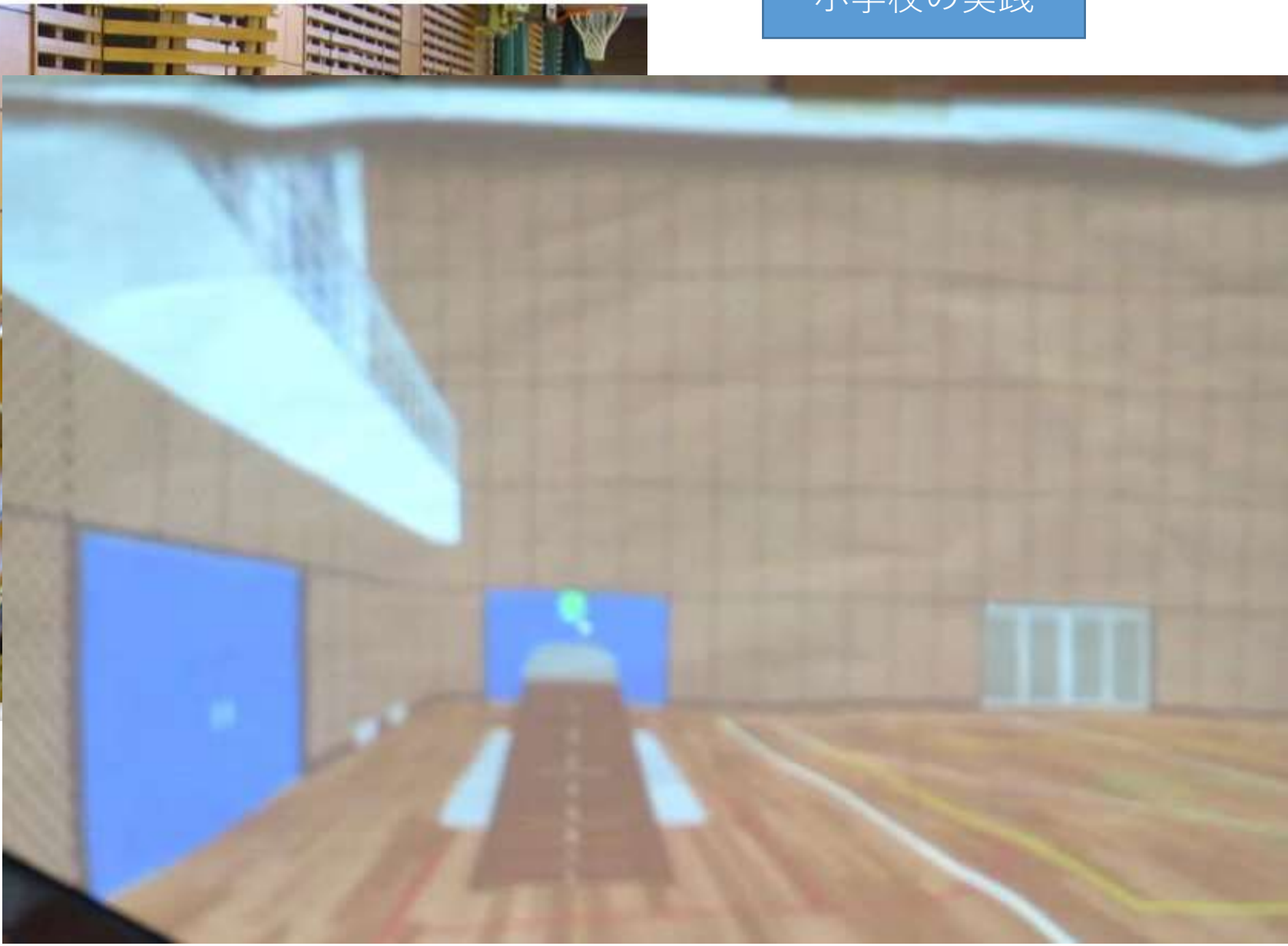




体育

VRでイメージトレーニング中

札幌市立九条北
小学校の実践



動画撮影 ⇒ アドバイスタイム

札幌市立九条北
小学校の実践



お手本タイム (NHKの動画クリップ)



A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となります。

▶ A1: 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

▶ B3: 思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った速度で学習することが容易となります。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となります。

▶ B1: 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

▶ B2: 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

▶ B4: 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

▶ B5: 家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

C 協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となります。

▶ C1: 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

▶ C2: 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

▶ C3: 協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

▶ C4: 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

文部科学省・総務省「学びのイノベーション」(平成23年～)イメージより

タブレットを使うと、自分の考えを整理したり、まとめたりできるようになってきた気がするから。

内容が難しいときも、タブレットがあるとわかりやすいと感じるから。

資料などが紙ではないので量が増えても、便利だと思ったから。

資料を読み取るのもタブレットだと読もうと思うから。

タブレットを使った授業が楽しいから。

友達の意見を自由に見ることができるから。

1人1台端末に関する理由

成果

徳島県 鳴門教育大学附属小学校

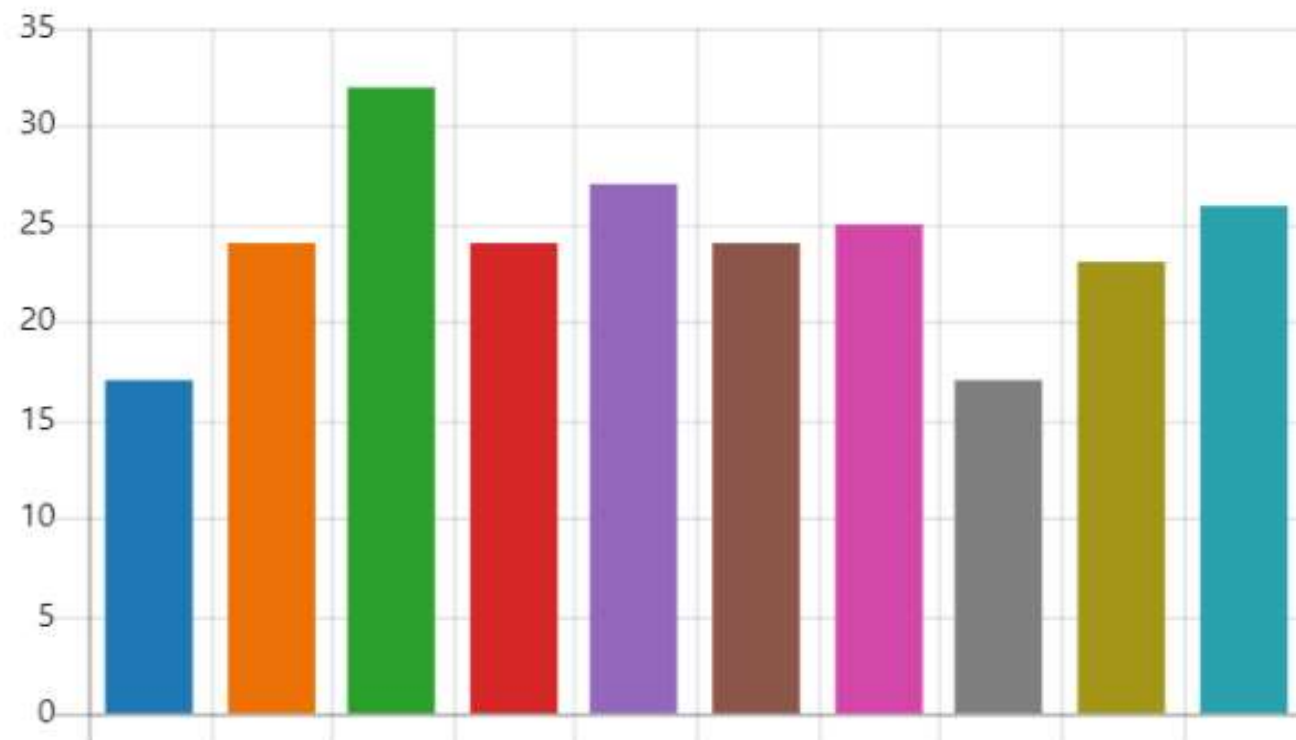
生杉 真美

2021年 12月25日

6. 社会科の学習で、どんな時にタブレットを使ってよかったと思いましたか。（当てはまるものすべて）

詳細

● 自分の考えを書く	17
● 自分の考えをまとめる	24
● グループで話し合いをする	32
● 友達の意見を手元でみる	24
● インターネットを使って調べる	27
● くばられた資料をつかって調べる	24
● カメラの機能で記録する	25
● 表現物をつくる（一人で）	17
● 表現物をつくる（何人かで）	23
● 自分の意見をクラスで発表する	26



(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、

(ア) 自然災害の防止

(イ) 森林の働き

(ウ) 公害の防止

(ア) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目

(イ) 森林資源の分布や働きなどに着目

(ウ) 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目

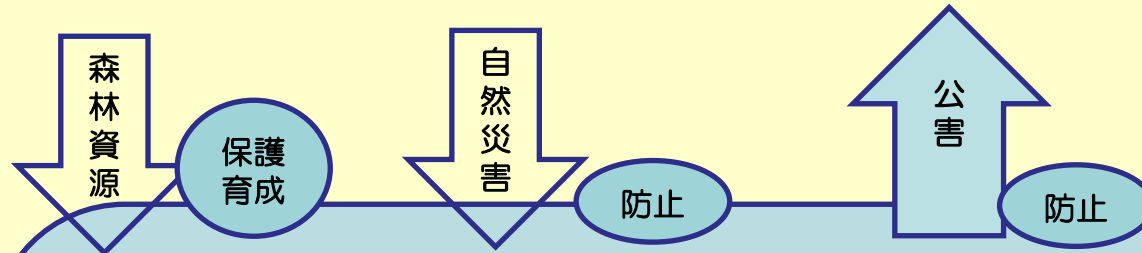
○地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などを取り上げること。

○大気の汚染、水質の汚濁などの中から具体的事例を選択して取り上げること。

○国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

内容（5）「国土と国民生活との関連」

日本の国土（地理的環境）



人々（国民）の活動

第1次産業（農業、水産業） → 地域事例（盛んな地域）

第2次産業（工業） → 地域事例（盛んな地域）

第3次産業（情報、販売、運輸ほか）

(4) 我が国の我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ウ) 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解すること。

(エ) 地図帳や各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ウ) 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現すること。

(4) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

イ ...大気の汚染、水質の汚濁などの中から具体的事例を選択して取り上げること。

ウ ...国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること。

単元の学習問題

を捉え

を考え

公害防止の取組

働き

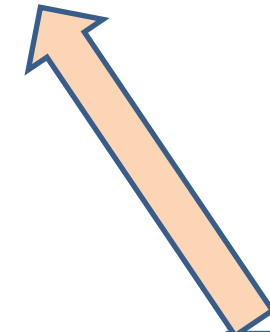
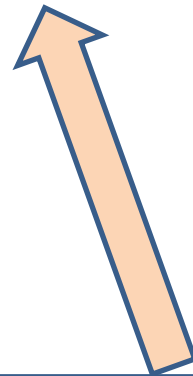
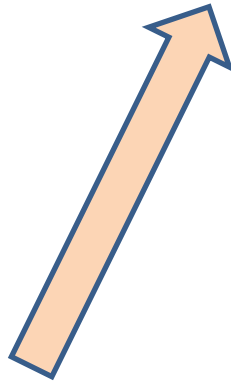
公害の発生の時期や経過

人々の協力や努力

など

毎時の課題(めあて、問い)

に注目して



公害防止の取組について、例えば、どのような公害がいつごろ発生したか、それはどのように広がり、その後どのように改善したか、人々はどのように協力してきたかなどの問いを設けて調べたり、公害防止の取組と国土の環境や国民の健康な生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現すること…

例えば、生活様式の変化や都市化の進展などがもたらした都市・生活型の公害、産業がもたらした公害などが考えられる。

国民の一人として、国土の自然環境、国民の健康や生活環境の維持・改善に配慮した行動が求められるなど国民一人一人の協力の必要性に気付くようにすることが大切である。その際、一度破壊された環境を取り戻すためには長い時間と多くの人々の努力や協力が必要であることに気付くようにするとともに、例えば、自分たちには何ができるかなどと、自分たちに協力できることを考えたり選択・判断したりして、国土の環境保全への関心を高めるように配慮することが大切である。

それぞれの人たちが、どうやってごみをへらしているのか

鳴海工場
ごみをとがして、炭を少なくしてごみをへらそうとしている。

市の人

つくる人

スーパーマーケット
ペットボトルや紙パックを集めている。
レジふくろを有料化して、エコバッグを進めている。

大江はさい工場
ごみのかさを小さくして、ふんべつして、うめたてるりょうをへらそうとしている。

南リサイクルプラザ
ペットボトルや紙パックをしげんにしている、リユース家具を売っている。

つめかえ用の商品
びんは洗って何度もゼロ・エミッション

しげんをもう一度さいりょうにして、リサイクルせい品を作っている。



使う人

集団資源回収
リサイクルステーション
フリーマーケット

長く何度も物を使う
エコバッグで買い物
ごみを分別して出す

しげん回収を助ける

市の人つくる人
使の人が協力して
ごみをへらそう
している。

人々の活動

社会的事象として
見るための視点

空間的な視点
位置や空間的な広がり
時間的な視点
時期や時間の経過
相互関係の視点
事象や人々の相互関係
など

に着目して
問いを見いだして

特色や意味の考え方
(方法)

特色
比較・分類、総合
意味
地域の人々や国民生活
との関連付け

意味を考えて

公害の防止に関わる人々の活動

社会的事象として
見るための視点

時間的な視点
公害発生の時期や経過
相互関係の視点
人々の協力や努力
など

に着目して
問いを見いだして

特色や意味の考え方
(方法)

意味
国土の環境や国民の健康な
生活を関連付けて

意味を考えて

振り返り

人の体にも影響があるんだよ

目標：それぞれが果たした役割を読み取り、地域で一体となって努力を重ねた改善したことを理解する。

公害→80年→きれいな空

ビデオの感想が後の学習を影響する
(なぜ各地の公害を取り上げたのか)

本時の課題：北九州市の空や海をきれいにするために誰がどのような取組を行ったのか

このタイミングでの気づきや疑問が
学習の方向付けになる

予想

市の偉い人がお金できれいにする人を雇った
工場の水をきれいにする機械をつくった
汚いところを埋め立てた(誰が?)
町の人が大掃除をしてきれいにした
市町村が条例を作って取り締まった

どんなつながりがあるのかな?など
次の活動へのつながりを

資料(5枚)「市の対策話し合い」「灰燼日本一」「条例」「法律」「工事」

この順番を考える活動は何を求めているのか(気付かせたいことは?)
それを言葉で言わせる必要がある。

市町村の動きは速かった。でももっと早い動きがあった。

Q: 取組のきっかけ

市町村が国に訴えた
死んだ人の家族が市に訴えた

取り上げないともったいない反応多い

資料: 「運動を起こす母親達」「空気の汚れを調べる市民」

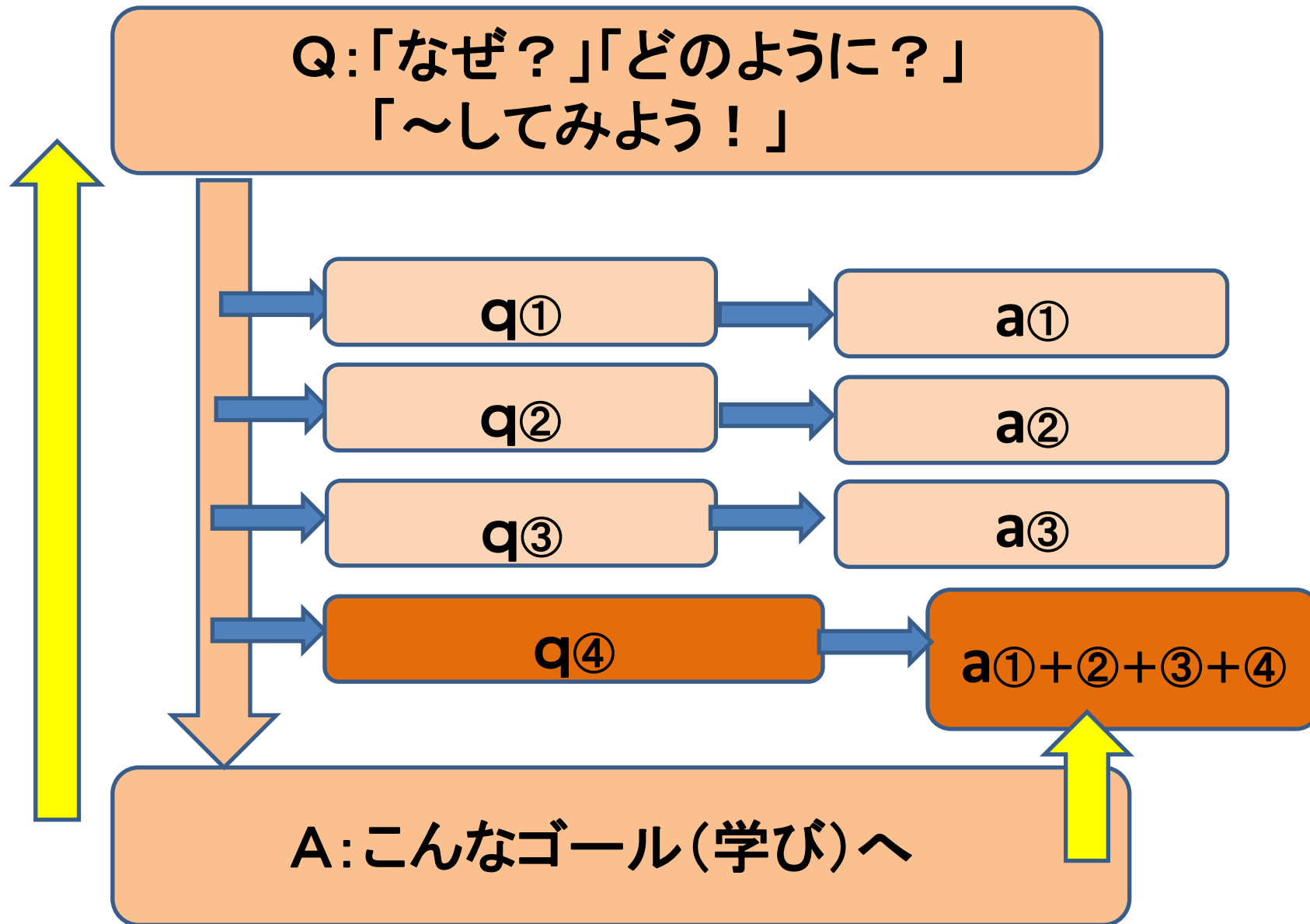
住民、国・市、
工場の三角形

三者の相互関係を説明できないと図を示す意味が無い。
特に住民の役割を。

住民(母親たち)がきっかけになったんだね。

市民が勇氣ある

一つ一つの資料を丁寧に読み取らないと、分かったようで分からない表象的な内容になる。情意は育たない



1コマ(45分・50分)の授業を見る目線

1 課題は子供に届いていたか

子供の疑問(問い)や予想

2 対話は成立していたか

力を合わせる必要感
(迷う・困る・選ぶ場面など)

3 全員が本時の目標を実現したか

子供の学びの価値付け

4 子供は満足・納得したか

適切な振り返りの場面

時刻
時刻
時刻
時刻

主体的

- ・教師の問い(課題)は届いているか。
- ・子供は見通しをもっているか。
- ・子供の思考の流れに沿っているか。

対話的

- ・子供同士の発言はどうつながっているか。
- ・意見の違いが板書などで整理されているか。
- ・課題や教師の発問に正対しているか。

深い学び

- ・目標の実現に向かっているか。
- ・考える場面は(焦点化され)設定されているか。
- ・学習のまとめは子供が行っているか。

今日は ~ について考えてみよう。

これは何

提示される教材等

○: 発言

*子供同士の発言がつながって ~ 場合には続けて話さ

るほど、 ~ の課題は ~ でいいかな。 ○: いいと思いま

の課題

黒板に書かれる課題

あ、まずみんなで予

ヒントは前の時間のノートにあ

ブで話し合う) ○:

→ ○:

○:

*発言内

こかのク

いて記録を取る。話が違

グループの結

てください。

の発言記録はできる限り正 (子供の文脈を大切にす

は、こんなことですね(板書で ~ 理しながら確認する)。

は、

は、

○:

○:

ね。では、今日の

発表してください。

(子供の発言を価値付けながら板書)

○:

○:

本時の目標

これからの販売の仕事が情報を生かしてどのように発展し、国民生活がどのように豊かになっていくのかを考え、表現できるようにする。



○情報を生かすことによる販売の仕事の発展と国民生活の向上について、それぞれ考え表現している。 【思考・判断・表現】

○販売の仕事がこれからどのように情報を生かしたらよいかを自分の生活と関連付けて考えようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

単元の評価の「総括」イメージ

記録

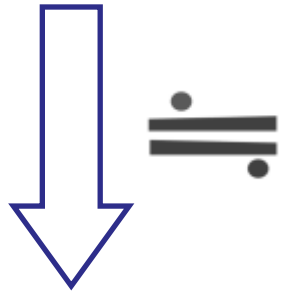
	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	第7時	総括
知識・技能			C		C		B	B
思考・判断・表現		B				B		B
主体的に学習に取り組む態度	B			B			A	A

指導

本時の評価の実際(社会科の例)

単元等の評価規準表の評価規準

例：～の働きの大切さを考え、文などで表現している。



本時における実際の評価規準

例：「〇〇と△△を関連付けて、～の働きについて表現しているか」を評価する。(ノートの記述内容から)

評価方法

○判断基準

- ・〇〇と△△を関連付けているか
- ・～の働きについて表現しているか

○評価資料(材料)

(ノートやワークシートの記述内容、作品など)

小学校社会科の例

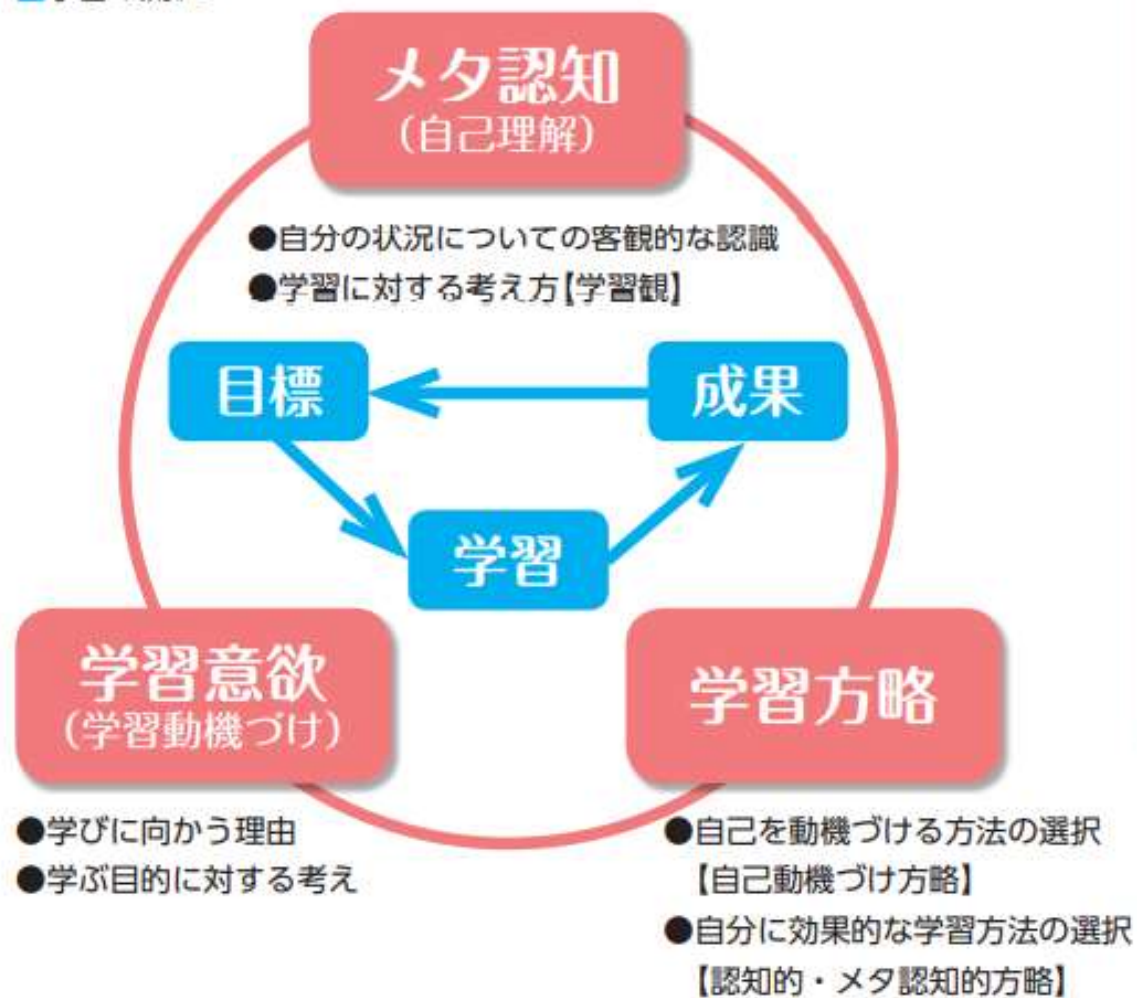
学習過程・学習活動		評価計画(例)
課題把握	社会的事象と出会う	知①
	単元の学習問題を設定する	思①
	予想や学習計画を考える	態①
課題追究	予想や学習計画に基づいて調べる	知①
		知①
課題解決	学習問題についてまとめる	知① または 思①
	選択・判断、多角的に考える	知① または 態①
		知①
		思② 知②
		態② または 思②

「小中学生の学びに関する実態調査」2014

調査設計

■「主体的な学び」の3要素

■学習の流れ



ベネッセ教育総合研究所

●調査対象

小学5年生・中学2年生（公立）

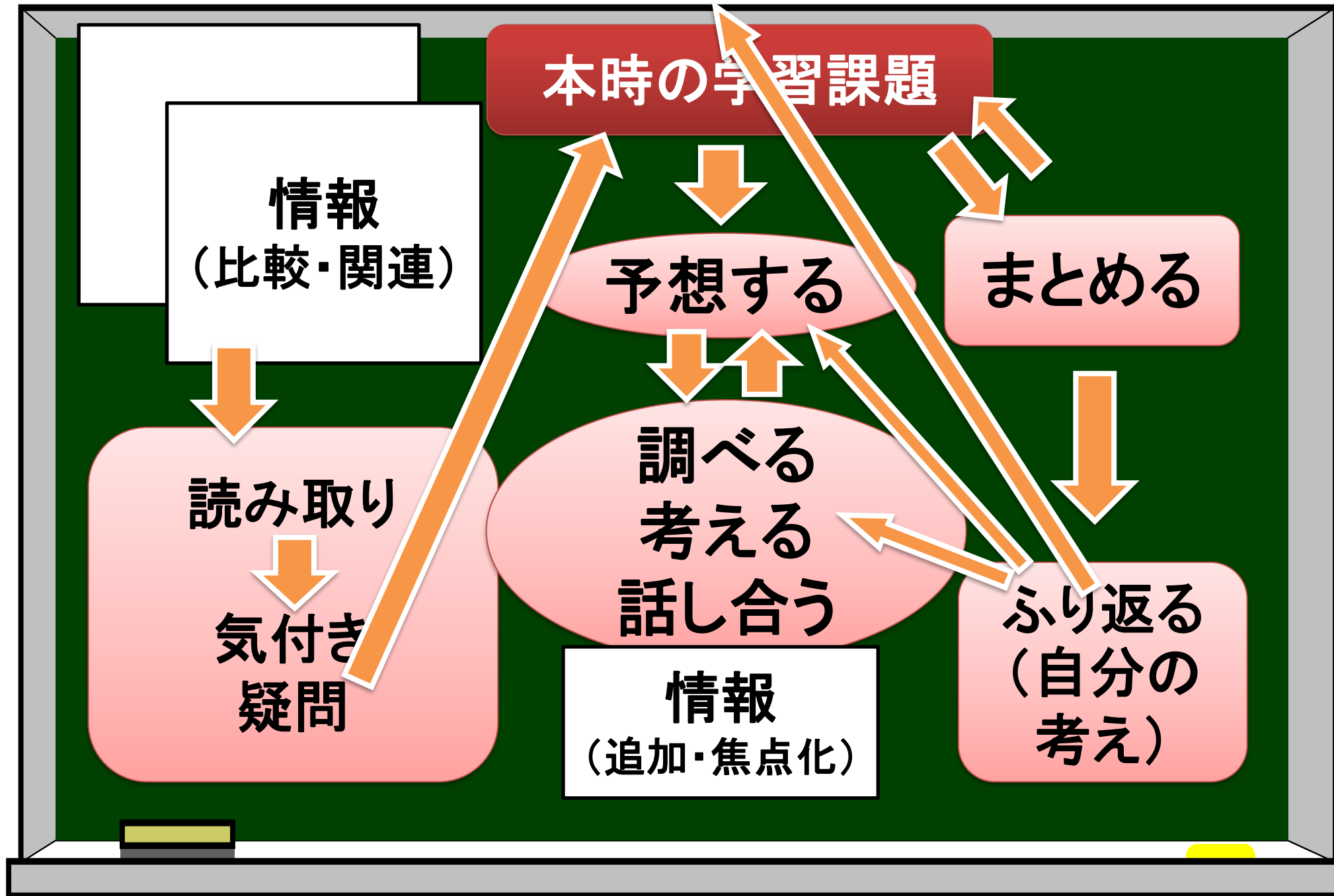
全国3地域（大都市（東京23区内）、地方都市（四国の県庁所在地）、郡部（東北地方））

高校2年生（公立普通科）

全国4地域（大都市（東京23区内）、および東北・四国・九州地方の都市部と郡部）

小学生の有効回収数：3,450組

中学生の有効回収数：1,959組



疑問

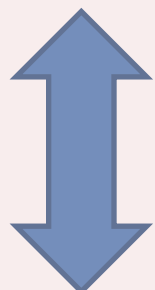
気づき

疑問

気づき



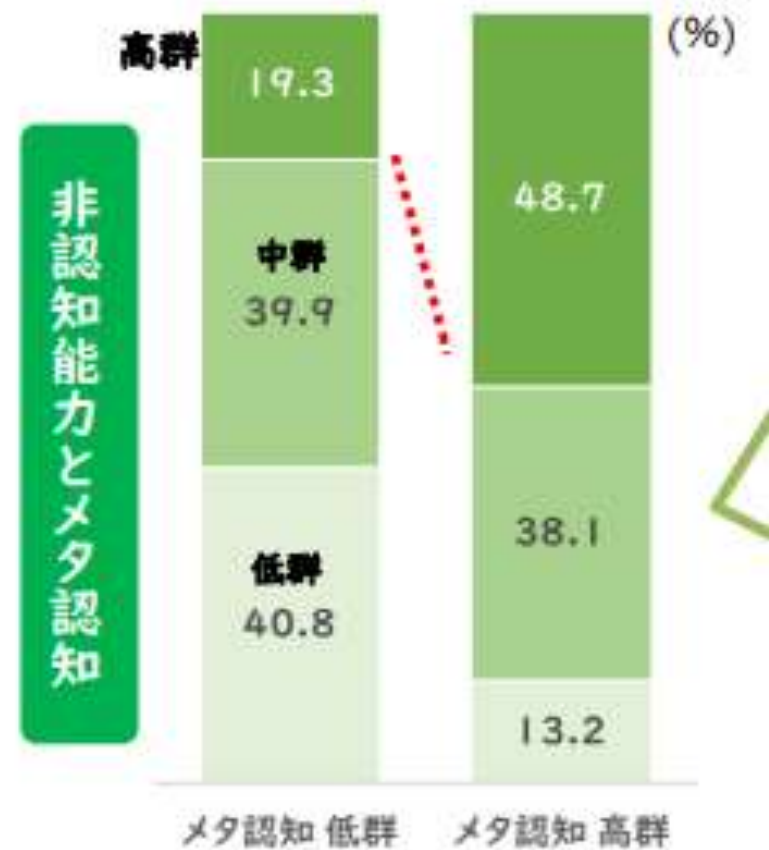
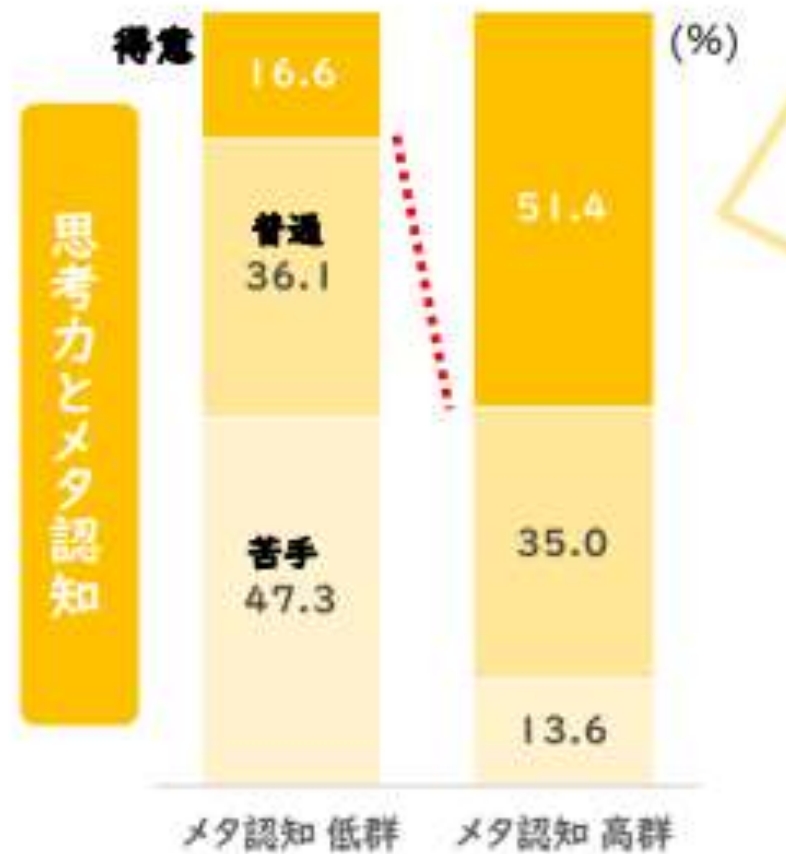
単元の学習課題 : ○○はどのように~だろう。



これを調べれば
分かるはずだ

たぶんこれと
関係あるん
じゃないか

私はこのこと
を調べていく

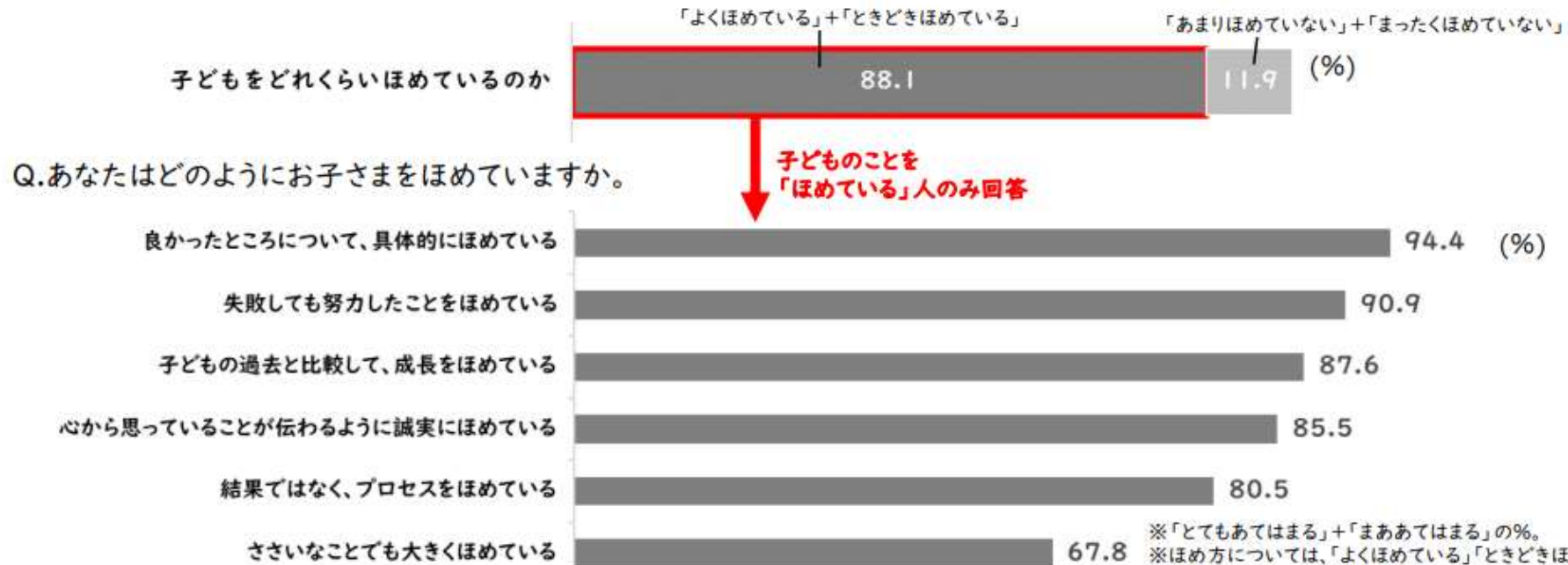


ほめることが子どものメタ認知や学習に影響。

子どもを「よくほめている」+「ときどきほめている」と回答した比率は88.1%で、そのうちの9割以上が「具体的にほめる」「失敗しても努力をほめる」と回答している。さらに保護者がよくほめる群と、あまりほめない群で子どもの行動や意識を比較したところ、よくほめる群の方が、メタ認知が高く、学習方略の活用率も高く、自律的な動機付けで勉強する様子である。勉強に対する自信や自己決定に関する意識も高いことが明らかになった。もちろん子どもの自律的な学習態度や行動が保護者の関わりに影響し、さらに子どもの成長を促す好循環となることが考えられる。

Q.あなたはふだん、子どものことをどれくらいほめていますか。

■図2-3 保護者のほめる頻度とほめ方(全体)



※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。
 ※ほめ方については、「よくほめている」「ときどきほめている」と回答した2,656人は分析対象。
 ※『行動を起こし、持続する力』(外山美樹(著)2011)を参考に、「ほめ方」の項目を作成。